

くすりの町・道修町で無料イベント

健康を身近に感じてもらう「道修町文化講演会」

～230年続く少彦名神社、薬問屋や製薬企業の集う「くすりの町」で学習～

主催：少彦名神社・道修町資料保存会 協賛：大阪家庭薬協会（ともに大阪市中央区）で、健康に気を配っておられる方を対象の「道修町文化講演会」を11月22日(木)に開催いたします。

当イベントは今年で26回目。身近にある病気や不調の悩みに寄り添いながら健康づくりと健康を支える生活を学んでいただける無料イベントです。大阪近隣に住む方に大阪の歴史と産業「くすりの町・道修町」を身近に感じていただくことが狙いです。

■嚥下（えんげ）を保って最期まで美味しく食べるために

(株)育星会 兼 認定NPO法人健康ラボステーション 管理栄養士 山内利香氏

年齢が上がると筋力が落ちやすくなりますが、飲み込む（嚥下する）ための筋力も同じように落ちやすくなります。最期まで口から食事を美味しく食べるために、むせにくい食事の工夫や嚥下するための筋力を鍛える方法をお伝えします。

■今からできる 便秘対策

イチジク製薬(株) 次長 薬剤師 三宅貴子氏

便秘になると、様々なトラブルが起こることがあります。肌荒れ、ぼっこりお腹、不眠で困っている方、もしかしたら便秘が原因かもしれません。

さわやかな朝を迎えられるように、便秘改善・解消できるように、対策を解説します。



■少彦名神社 宮司 別所賢一氏コメント

大阪・船場エリア、中でも当神社のある道修町は「くすりの町」「日本の医薬品産業発祥の地」と言われています。当イベントへ参加することで、人々の健康を支える薬、病の治癒を願う人々の思い、大阪の産業・歴史などへ関心を持っていただき、家庭で話し合う機会となれば嬉しく思います。

■道修町文化講演会 概要

日時：2018年11月22日(木) 13:30～15:30 (13時開場)

参加費：無料 ※要事前予約

聴講申込：定員80名 (定員になり次第締切り)

希望者は、往復はがき (必ず、はがき1枚に1名) に、

住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、下記住所までお送り下さい。

※普通のはがきにてのご応募は、無効になりますのでご注意ください。

〒541-0045 大阪市中央区道修町2-1-8 少彦名神社内

道修町資料保存会へ。(TEL 06-6231-6958)

※11月15日(木) 必着

講演会の場所：大阪薬業クラブ(大阪市中央区伏見町2丁目4-6)

地下鉄堺筋線 北浜駅⑥出口

御堂筋線 淀屋橋駅⑫ ⑬出口

京阪本線 北浜駅⑳出口

[当日のプログラム]

13:00 開場

13:30～14:30 [講演] 嚙下(えんげ)を保って最期まで美味しく食べるために

14:30～15:30 [講演] 今からできる 便秘対策

15:30 終了

終了後、少彦名神社へのお参りや道修町ミュージアムストリート(医薬品に関する展示施設)を探索していただき、道修町の歴史を体験していただけます。

■2017年の講演会の様子 参加人数 80名 40歳～90歳(平均年齢 約75歳)



参考資料

■道修町ミュージアムストリート

少彦名神社から徒歩5分圏内に医薬品に関する展示施設が5施設あります。そのほとんどが土日祝を休館日、また、事前予約が必要な施設もありますが、神農祭 2日目の11月23日は、祝日でも見学が可能、事前予約も不要です。

【道修町ミュージアムストリート】各施設の開館時間・休館日などの詳細は

<https://www.mtpc-shiryokan.jp/map/> (田辺三菱製薬史料館WEB サイト)



■健康の神、薬の神を祀る「少彦名（すくなひこな）神社」と「くすりの町・道修町（どしょうまち）」

少彦名神社は大阪市中央区の道修町にあります。道修町を含む北船場地区の歴史は豊臣時代までさかのぼり、中国から輸入される唐薬種を扱う堺の商人が寛永年間(1624～1645)に道修町で薬種屋を開いたことから始まると言われていています。江戸時代 8代将軍徳川吉宗の時代である享保 7年(1722)に幕府によって認められ、所薬種を吟味(検査)して適正価格をつけ独占的に全国へ供給したことから、くすりの町として知られるようになりました。道修町の薬種商の家では、中国の薬の神様である神農氏の掛け軸を拝むようになり、安永5年(1780)に道修町の薬種中買仲間による伊勢講が結成され、日本の薬の神様である少彦名命の分霊を勧請して神農氏とともに祀られるようになったことから、少彦名神社は、“神農さん”の愛称で親しまれています。

■大阪家庭薬協会 概要

大阪家庭薬協会は、昭和20年に大阪府内に本社または工場等の営業拠点を持つ家庭薬メーカー34社の親睦団体として創立されました。設立当初は「大阪府家庭薬組合」と称し、その後、昭和25年2月に「大阪家庭薬協会」と名称が変更され今日に至っています。今では大阪府内だけでなく関西近辺、東京、名古屋、四国、九州に本社がある家庭薬メーカーも加盟し、会員相互に親睦を深め、具体的なテーマを決めて連携する団体として活動しています。総会員社数は52社です。